

## 令和7年度使用中学校用教科用図書採択結果等について

採択地区名	江田島市
-------	------

種 目	発行者	採 択 理 由
国語	光村	<p>○情報の扱い方に関する事項については、各学年とも、本編の情報活用に係る単元「情報×SDGs」を設定し、教材を1つは掲載している。また、情報整理の方法として「情報整理のレッスン」、情報と情報の関係を捉える「思考のレッスン」を設定し、情報の扱い方と関連させた「書くこと」の活動に関する教材を掲載しており、社会の問題を自分のこととして捉え、解決する力を育む工夫がみられる。</p> <p>○考え方を形成する活動の工夫については、第3学年の「話し合うこと」における合意形成に関する単元において、複数の発言の共通点を見いだす等、具体的な事例を抽象化して整理する例を示すとともに、言の葉ポケット「提案を検討するとき」「互いの意見を生かして、合意形成を目ざすとき」を掲載しており、思考力・判断力・表現力等を高める手立てとなっている。</p> <p>○見通しを立てて学習するための構成上の工夫については、第3学年の「書くこと」の単元において、学習の流れを①題材を選ぶ②観点を決めて分析する③構成を考える④批評文を書く⑤友達と文章を読み合う、振り返ると示しているため、主体的に学習に取り組むことができる。</p>
書写	教出	<p>○目的や必要に応じて書き方を選ぶための工夫については、「目標」では、「書写の学習で身につけた力を、学習活動や日常生活に生かして書こう」と示すとともに、学習活動や日常生活の中で、場面に応じた書き方をするにはどのような点に注意するといよいか、話し合うようにしており、日常生活に生きてはたらく力を身に付けることができる。</p> <p>○学習の見通しを立てるための構成上の工夫については、「学習の進め方」では、それぞれの学習場面における学び方を写真等で示しており、視覚的に理解しやすい。</p> <p>○デジタルコンテンツの活用については、ワークシートを閲覧できる二次元コードが3つあり、毛筆の主教材を毛筆・硬筆の楷書、硬筆の行書で書字する動画が閲覧でき、それぞれを比較しながら学習できるようになっている。</p>
社会 (地理的分野)	東書	<p>○国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識及び技能を身に付けさせる工夫については、本文の学習内容を説明したり、関連する内容を取り上げたりしている「未来にアクセス」や、身に付けた技能を活用する「スキル・アップ」というコーナーを設定しており、知識・技能を身に付けさせる多くの工夫がみられる。</p> <p>○見方・考え方を働かせるための工夫については、編や章の導入に「地理のミカタ」として、「見方・考え方」を示し、思考ツールを活用して学習をまとめる等、地理的な見方・考え方を働かせた学習が展開できる。</p> <p>○「防災教育」において、日本で見られるさまざまな自然災害、防災・減災に向けた取り組みと課題、ハザードマップの読み取り方と公共交通機関が災害からの復興に果たす役割について2ページずつ記載しており、現代的な諸課題を解決するための工夫がみられる。</p>

種 目	発行者	採 択 理 由
社会 (歴史的分野)	東書	<p>○学習のまとめの工夫については、「中世の日本」の単元において、探究課題について章の学習を振り返り、自分の考えを文章にまとめる活動を設定しており、思考を整理し、学びを深めるための工夫がみられる。</p> <p>○単元の導入における工夫としては、「近世の日本」の単元において、2ページを使い、二次元コード、小学校の社会で習った言葉、絵図と人物や歴史的事象のイラストを用いた年表、キャラクターの問い等や、資料の読み取り及び話し合い活動を示している。また、章の学習課題とともに、キャラクターの問いにより、章及び各節の学習課題を導くよう構成されている。</p> <p>○主権者育成のための工夫として、近代では「イギリスとアメリカの革命」「フランス革命」というタイトルで4ページを使って記載し、「アメリカ独立宣言」「人権宣言」等の資料を掲載しており、社会参画への意識を高める工夫がみられる。</p>
社会 (公民的分野)	東書	<p>○公民としての基礎的教養を培うための工夫としては、「対立と合意」の見方・考え方について、部活動を例にあげ、課題を絵図で示しており、現代社会を捉える見方・考え方を理解させるための具体的事例が扱われている。</p> <p>○「よりよい社会を目指して」における見方・考え方を働かせるための工夫としては、持続可能な社会の実現に向けて課題を設定し、「対立と合意」や「効率と公正」等の視点を示しており、思考力、判断力、表現力等を育てる工夫がみられる。</p> <p>○社会参画への意識を高める工夫としては、「現代の民主政治と社会」の章末において2ページを使い、「S市の議員になって条例を作ろう」という具体的な学習課題を設定しており、現代的な諸課題を自分ごととして捉えることができる。</p>
地図	帝国	<p>○地図の活用を促す工夫としては、巻頭ページに「この地図帳の凡例」を記載している。また、「この地図帳の使い方」を設け、一般図、鳥瞰図、主題図等の見方や使い方といった地図の活用方法を記載しており、比較を通して知識・技能を高めることができる。</p> <p>○思考力、判断力、表現力等を育む工夫としては、歴史、公民、SDGsとの関連を示すアイコンや「防災」「環境」「日本との結びつき」コーナーを設けている。また、ページ全体に関わる主題を示す「主題学習」のコーナーを設けている。</p> <p>○目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫としては、「地図で発見！」のコーナーを設け、社会科の学習を、地図をもとに確認したり深めたりする問いとして156問記載しており、学習内容と関連付ける工夫が多くみられる。</p>
数学	東書	<p>○知識及び技能の習得を図るための工夫については、第2学年「文字を用いた式の四則計算」の導入において、章のはじめに章の学習内容につながる問いかけとともに、学習を通して身に付ける力を示しているため、見通しをもって学習することができる。</p> <p>○興味・関心を高めるための工夫としては、第1学年「データの活用」の単元において、サッカーチームの記録等、日常生活のかかわりで取り扱われている題材が設定されており、主体的に学習に取り組ませる工夫がみられる。</p> <p>○巻末問題として「数学の目でふり返ろう」を設定し、学年を越えて働かせることができる「見方・考え方」を確認できるようにしているため、前の学習や先の学習と共通していることを実感することができる。</p>

種 目	発行者	採 択 理 由
理科	東書	<p>○知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫については、補足的な学習として、単元の中に「これまでに学んだこと」を設定している。また、単元末に「確かめ問題」「活用問題」を設定しており、知識や概念の定着を図り、理解を深めるための工夫がみられる。</p> <p>○各学年の巻頭に「探究」の流れを確認しよう」として探究の過程を示しており、科学的に探究する力の育成を図る工夫がみられる。</p> <p>○内容の表現・表記については、第3学年巻末の内容において、二次元コードを「基礎操作」「理科の学習を深めるために」で示すとともに、個に応じた学びや他者と協働する学びを複数掲載している。</p>
音楽 (一般)	教芸	<p>○音楽的な見方・考え方を働かせる工夫については、音楽を形づくっている要素を学習目標の下に示すとともに、活動文や考えたいポイントをキャラクターの吹き出しの中で使っており、思考力・判断力・表現力等の育成につながる。</p> <p>○巻頭の「音楽ってなんだろう？」の中で、宇宙飛行士、人類進化学者、アートディレクターの言葉と関連する写真等を掲載しており、興味・関心を高めるための工夫がみられる。</p> <p>○第2・3学年「花」において、二次元コードを掲載し、範唱に合わせた風景の映像と歌詞の動画を掲載しているページにアクセスできる。また、パート別とカラピアノの音源を掲載しているページにアクセスできるため、個別最適な学びと協働的な学びに生かすことができる。</p>
音楽 (器楽合奏)	教芸	<p>○器楽分野の知識及び技能の習得を図るための工夫については、リコーダーの奏法、身体の使い方に関する記載において、姿勢と構え方の写真を真正面と真横から撮影し掲載しており、表現活動をするための技能を習得するための工夫がみられる。</p> <p>○音楽的な見方・考え方を働かせる工夫については、注目するポイントとして、音楽を形づくっている要素を示し、キャラクターの吹き出しで考える観点を例示しており、思考力・判断力・表現力の育成を意識し、音楽の特質に応じた言語活動を位置づけている。</p> <p>○デジタルコンテンツの活用において、奏者の情報、姿勢と構え方、タンギングについての動画、教材曲の伴奏の音源、「学びのコンパスアーティキュレーションを工夫しよう」のワークシートが示されており、音楽的な見方・考え方を働かせて学習することができる。</p>
美術	光村	<p>○形や色彩、材料や用具の取扱い等の定着を図るための工夫については、巻末に「学習を支える資料」及び通年で使用できる、別冊「美術1資料」に、形や色彩、材料や用具の取扱い及び表現方法等に関する資料を掲載しており、知識及び技能の習得を図ることができる。</p> <p>○美術1資料「つくってみよう見てみよう」において、「発想・構想のために」のページを設け、マッピングやピラミッドチャート等、生徒が学習の中で発想・構想する際の方法を示しており、表現及び鑑賞の活動における言語活動の工夫がみられる。</p> <p>○鑑賞において、作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部や全体を拡大したり、紙質とページの大きさを変えたりして示しており、興味・関心を高める工夫がみられる。</p>

種 目	発行者	採 択 理 由
保健体育	東書	<p>○思考力、判断力、表現力等の育成を促す工夫については、「㊟」として、思考するための発問を設定するとともに、「活用する」として、習得した知識及び技能を活用し、思考する活動を設定しているため、学習内容を広げたり深めたりすることができる。</p> <p>○自己の課題の発見や、解決に向けた学習活動の設定については、「健康な生活と疾病の予防」において、学習したことを基に、感染症を予防するために、自分たちの学校全体で取り組むべき対策を考える活動を位置付けている等、主体的に学習に取り組ませるための工夫がみられる。</p> <p>○「発展」として「学習指導要領に示されていない内容ですが、必要に応じて学習しましょう。」と巻頭に示し、本編では19か所掲載しており、生徒の理解度や興味に応じて自らがすすんで取り組めるように構成されている。</p>
技術・家庭 (技術分野)	東書	<p>○各内容の初めに、「技術の見方・考え方」において、身近な技術の具体例を取り上げるとともに、技術に込められた工夫や、技術を最適化する際に着目する視点について示しており、「技術の見方・考え方」を意識させる多くの工夫がみられる。</p> <p>○「技術分野の学習を終えて」において、これまでの学習を振り返り、これから技術とどのように関わっていきたいか考えをまとめさせる記述を掲載するとともに、社会の中で技術に携わる人へのインタビュー等を掲載している等、主体的に学習に取り組ませるための工夫がみられる。</p> <p>○中学校の各教科等の学習内容との関連として、28か所「リンク」マークを用いて、教科、内容等を示している。また、小学校の各教科等の学習内容との関連については、5か所「リンク」マークを用いて、教科、内容等を示している等、各教科等と関連させて学習を進める多くの工夫がみられる。</p>
技術・家庭 (家庭分野)	東書	<p>○基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫については、各内容とも、項目ごとに見出しの下に「目標」を1つまたは2つ示している。「キーワード」マークをつけ、関連する語句を示している。基礎的な用語のうち、重要な語句は本文と異なる書体を用いた太字で表記している。</p> <p>○生活の中から課題を見いだすための工夫については、各編の導入には課題設定の記入欄を設け、自分の知りたいことやできるようになりたいことを記入することで、生活の課題と実践へとつなげている。</p> <p>○「生活の営みに係る見方・考え方」を意識させるための工夫については、「家庭分野ガイダンス」において、生活の営みに係る見方・考え方をイラストやマークを用いて解説するとともに、具体的な例をあげてわかりやすくしている。</p>
英語	光村	<p>○Part 1、2、3それぞれListen→Speak→Writeの流れで新出文法を設定しており、基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図るための工夫がみられる。</p> <p>○単元における言語活動の工夫については、Unitの最後のGoalにおいて、Unitで学習した言語材料を用いて話すこと・書くこと等の言語活動を系統的に編成し、インプットとアウトプットを繰り返すことで、資質・能力の定着を図ることができる。</p> <p>○第3学年Unit 1において、扉：Listen、ピクチャーカード並べかえ、Watch（アニメ/ドラマ）等を掲載したページにアクセスすることができ、Goalには、Partの学習の振り返りを促すヒントやアイコンが設定されているので、既習事項を繰り返し活用しながら、主体的に学習に取り組むことができる。</p>

種 目	発行者	採 択 理 由
道徳	日文	<p>○道徳科の学び方等の示し方については、「道徳科での学びを始めよう！」において、1ページに、道徳科についてイラストや吹き出しを使い、学習の流れ等を「①気づく」「②考える・議論する・深める」「③見つめる・生かす」の3つで示しており、学習計画や見通しが立てやすい。</p> <p>○考えをまとめたり、振り返ったりする活動の工夫については、別冊「道徳ノート」の巻末に、心に残っている授業や考えたこと等を記入するページを設けており、道徳科の学びを積み重ね、自らの成長を実感することができる。</p> <p>○問題解決的な学習を取り入れた工夫については、「学びを深めよう」を設け、目次及び該当ページにマークを付けて示し、教材の終わりに、学習過程の例を示すことで、主体的な学びにつなげることができる。</p> <p>○現代的な課題等を踏まえた内容の示し方については、いじめ問題の扱いにおいて、いじめを扱った教材とコラムをユニット化し、年間で複数配置している。いじめを扱う最初のユニットに、扉ページ「いじめと向き合う」を設定し、巻頭において、「いじめと向き合う」をテーマとした教材を示し、いじめ問題等について繰り返し、深く考えさせる工夫がみられる。</p>

※ 複数の町で構成される採択地区においては、事務局を担当する町から提出すること。

※ 「発行者」欄は、該当する発行者の略称をリストから選択すること。

※ 必要に応じてセルの高さを変更してもよい（セルの横幅は変えないこと）。